

北九州市響灘地区における洋上風力発電事業に関する工事実施のお知らせ

次のとおり、北九州市響灘地区において洋上風力発電事業に関する工事を実施します。
 付近を航行する船舶は十分な注意と工事へのご協力をお願いいたします。

◆◆◆ お問い合わせ先 ◆◆◆

(発注者)ひびきウインドエナジー株式会社 TEL 093-981-4362
 (支援室)西部海難防止協会 ひびき支援業務室 TEL 093-863-9013
 (施工者)五洋・日鉄エンジニアリングJV(海底ケーブル) TEL 093-752-2611
 ベスタス・ジャパン株式会社(風車据付) TEL 070-7603-4159

1. 工事期間

海底ケーブル・風車据付工事:2024年8月初旬~2025年12月下旬
 工事期間全体 :2022年12月~2026年3月

○海底ケーブル、風車据付工事

項目	2024年												2025年											
	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12						
準備工																								
海底ケーブル敷設																								
海底ケーブル防護																								
風車水切り・仮組立																								
風車据付																								
片付け工																								

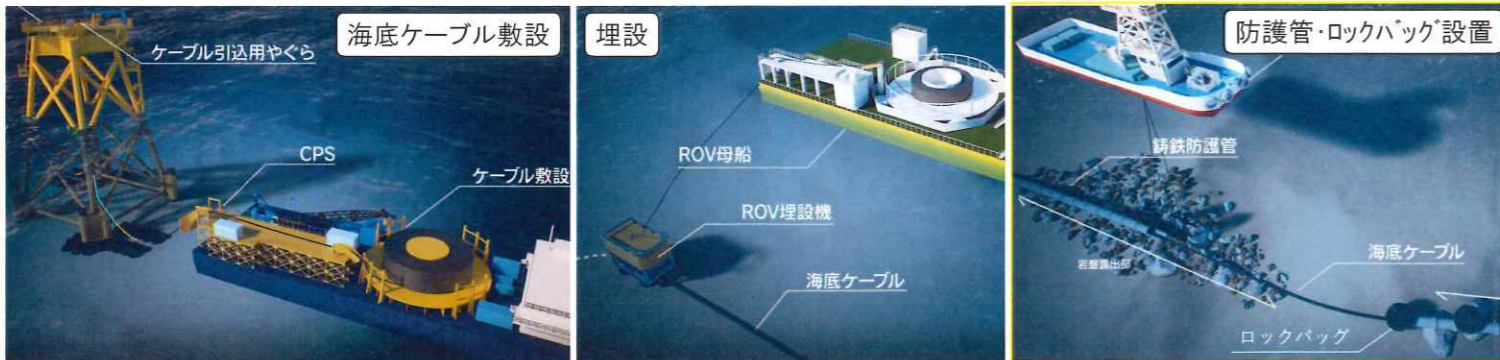
※作業時間は日の出から日没までとします。ただし、ROV埋設(海底ケーブル防護)およびSEP船を使用する作業は24時間作業とします。
 ※実際の工事進捗によって、工事予定は変更になる場合があります。

2. 工事概要

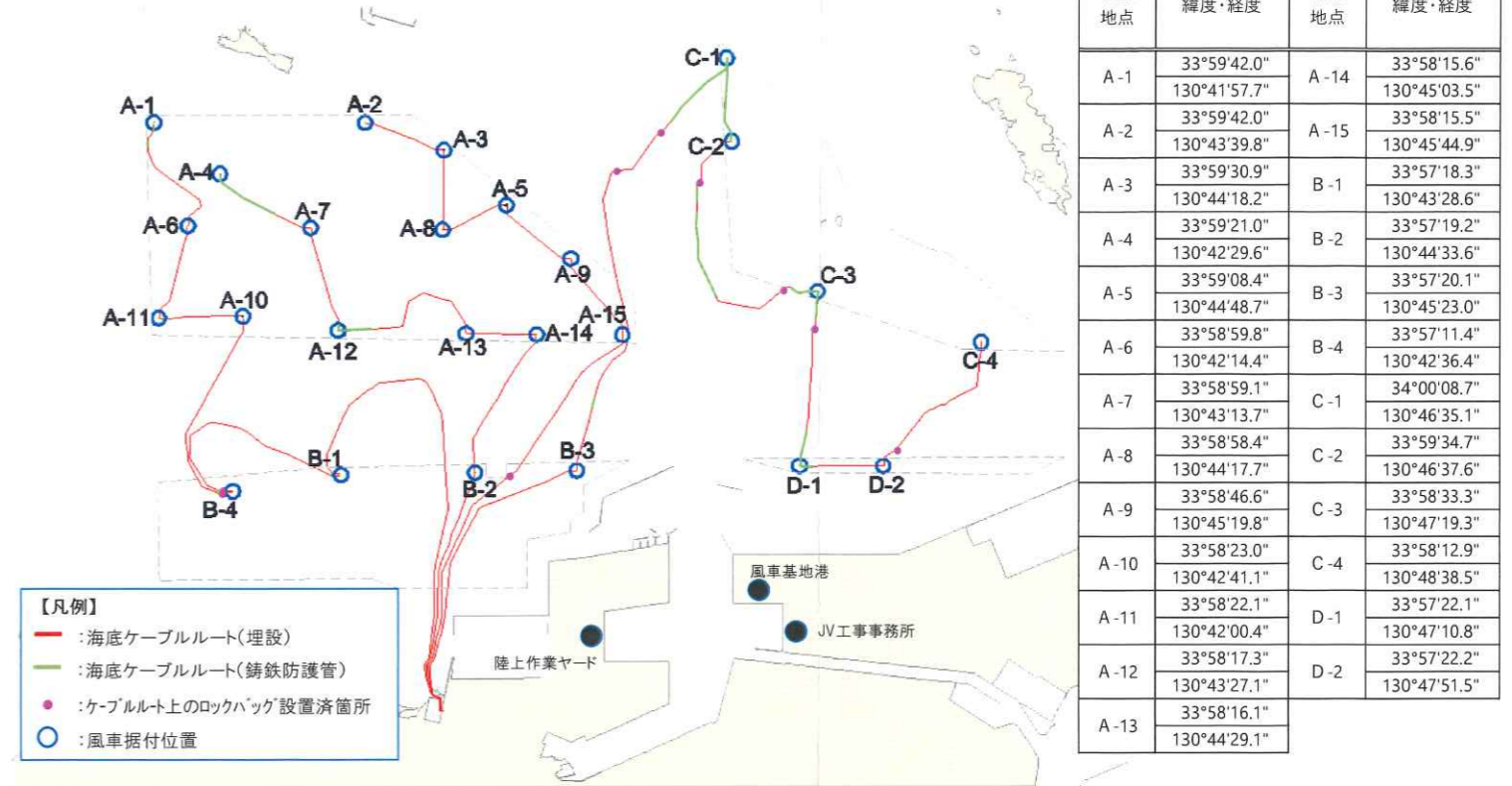
響灘洋上WFは港湾法に基づく港湾区域内での洋上風力発電プロジェクトであり、北九州港港湾区域内の約2,700haに定格出力9.6MWの風車を25基設置します。

海底ケーブル工では、フィッシャリーナ内の旧取水口から陸揚げし、各風車に向け4系統に分けて海底ケーブルを敷設します(総延長約60km)。基本的にROVにより埋設し、岩盤で埋設できない箇所は、鑄鉄防護管(高さ約0.3m)によりケーブルを防護します。また、鑄鉄防護管の水中安定化対策のために、その上にロックバッグ(高さ約0.8m)を設置します。

風車据付工では、海外から運ばれてきた風車部材をギア付船もしくは陸上クレーンを使用して水切りし、岸壁背後のヤードに仮置きします。その後、大型クレーンにてタワーの仮組立およびSEP船にて風車部材の積み込みを行い、沖合にてタワー・ナセル・ブレードの順番に組み立てます。



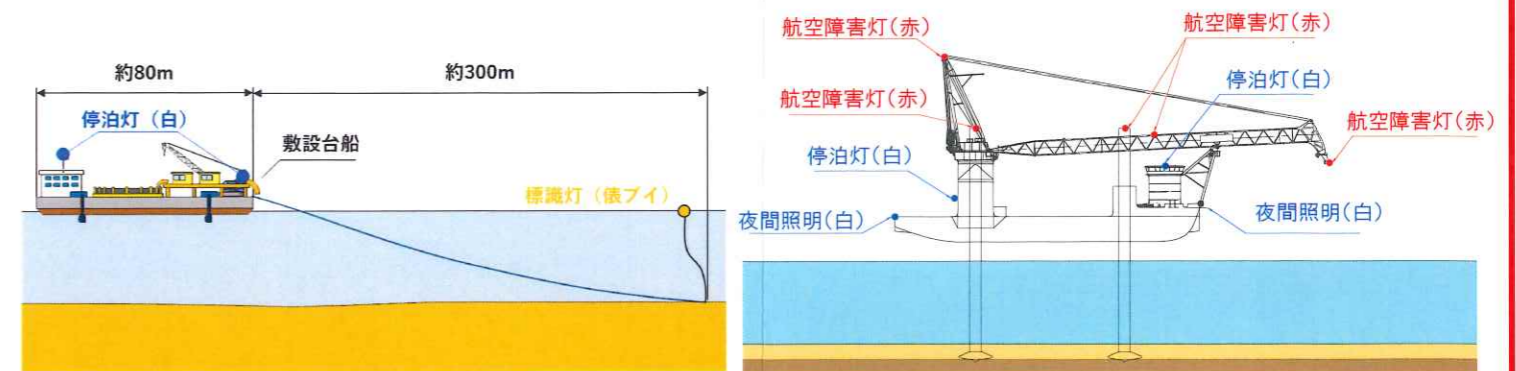
3. 工事場所(北九州市響灘地区)



工事位置座標

作業地点	緯度・経度	作業地点	緯度・経度
A-1	33°59'42.0" 130°41'57.7"	A-14	33°58'15.6" 130°45'03.5"
A-2	33°59'42.0" 130°43'39.8"	A-15	33°58'15.5" 130°45'44.9"
A-3	33°59'30.9" 130°44'18.2"	B-1	33°57'18.3" 130°43'28.6"
A-4	33°59'21.0" 130°42'29.6"	B-2	33°57'19.2" 130°44'33.6"
A-5	33°59'08.4" 130°44'48.7"	B-3	33°57'20.1" 130°45'23.0"
A-6	33°58'59.8" 130°42'14.4"	B-4	33°57'11.4" 130°42'36.4"
A-7	33°58'59.1" 130°43'13.7"	C-1	34°00'08.7" 130°46'35.1"
A-8	33°58'58.4" 130°44'17.7"	C-2	33°59'34.7" 130°46'37.6"
A-9	33°58'46.6" 130°45'19.8"	C-3	33°58'33.3" 130°47'19.3"
A-10	33°58'23.0" 130°42'41.1"	C-4	33°58'12.9" 130°48'38.5"
A-11	33°58'22.1" 130°42'00.4"	D-1	33°57'22.1" 130°47'10.8"
A-12	33°58'17.3" 130°43'27.1"	D-2	33°57'22.2" 130°47'51.5"
A-13	33°58'16.1" 130°44'29.1"		

4. 法定灯火及び航空障害灯配置図



海底ケーブル工事 夜間停泊状況
(ケーブル敷設船:開洋)

風車据付工事 夜間停泊状況
(SEP船:CP-16001)

5. 工事期間中の安全対策

- ケーブル敷設船夜間停泊時は、アンカー位置に標識灯を取り付け、明示するとともに法定灯火を設置します。
- SEP船夜間停泊中は、法定灯火ならびに船舶四隅(レグ・クレーンブーム先端等)に航空障害灯を設置し、航行船舶から視認できる照度を確保します。
- 作業中は警戒の標識(緑・黄・緑の吹き流し)を掲げた警戒船を工事区域の周辺に1隻以上配備します。
- 事前に関係各所と行き会い調整を行い、また、響泊地へ入域する際は、誘導船の誘導に従い入域します。

6. 航行船舶へのお願い

- 工事区域付近を航行される場合は、操船に影響のない範囲で速力を減速するとともに、できる限り作業用船舶から離れて航行してください。ご協力をお願いいたします。
- 夜間に工事区域付近を航行される場合は、十分に注意して航行くださるようお願いいたします。
- ロックバッグ設置箇所は約1m水深が変化しておりますので、十分に注意して航行くださるようお願いいたします。